

大会内容

挨拶

半田労働基準監督署長

石川真一氏

安全講話

「第14次労働災害防止推進計画」と「安全経営あいち®」

半田労働基準監督署 安全衛生課長

松井賢介氏

昨年度から「第14次労働災害防止推進計画」がスタートしました。愛知労働局及び管下の労働基準監督署では、同計画の中核的な施策として「安全経営あいち®」の推進を掲げています。今回は、「第14次労働災害防止推進計画」が目指すべき社会、その社会実現のための「安全経営あいち®」の概念等についてご説明いたします。

講演

災害事例に学ぶ・・・労災リスクの低減

新徳労働安全コンサルタント事務所 所長
労働安全コンサルタント

新徳達二氏



【講師プロフィール】清水建設(株)入社、名古屋支店管内の建築現場に配属。平成03年工事長を拝命現場管理に通算約28年従事。平成9年岐阜営業所安全担当(安全長)に任じられる。平成13年名古屋支店安全環境部長を拝命。店社安全スタッフとして通算12年従事。平成22年定年退職。平成23年労働安全コンサルタント事務所開設。

企業の生産現場では、日々安全管理活動が行われている。その活動の目的は何か、安全とは何か、リスクとは何かを根源的に問う必要がある。労働災害が発生すると、原因を明らかにし、対策のルール化が行われている。これは「後追いの安全」である。現在、重要な災害防止活動として事前にリスクの程度を調査し、打ち手を決める「先取りの安全」が求められる。災害はリスクを放置した結果であることが多い。現場の管理監督者の使命は労働災害(労災)リスクの低減である。

特別講演

南海トラフ地震に備え産業防災の推進を!

名古屋大学名誉教授
あいち・なごや強靱化共創センター長

福和伸夫氏



【講師プロフィール】名古屋大学大学院修了後、清水建設にて10年間原子力耐震研究に従事した後、名古屋大学に異動。工学部助教授、先端技術共同研究センター教授、環境学研究科教授、減災連携研究センター教授を経て、2022年定年退職。地震工学・建築耐震工学に関わる教育・研究に携わると共に、国や自治体の防災施策や、防災・減災活動に従事。日本建築学会賞や防災功労者内閣総理大臣表彰などを受賞。

昨年発生した能登半島地震や日向灘の地震を受け、地震防災への関心が高まっている。また、防災庁の設立に向けた検討も始まっている。年度内には、南海トラフ地震の新たな被害予測結果や対策方針も示される予定である。何れ発生する南海トラフ地震を前に、産業界の建物や住宅の耐震化が遅々として進んでいない。このままでは、国家存続の危機を迎える。能登での教訓と南海トラフ地震の正体を学び、産業防災を本格化させたい。